

コートと青写真：インドバドミントンの現在地と未来

過酷な環境、異端のアイコン、そして次世代エコシステム構築への軌跡

39' 4.5"

39' 4.5"

13' 1.5"

1.98M

20' 0"

1.98M

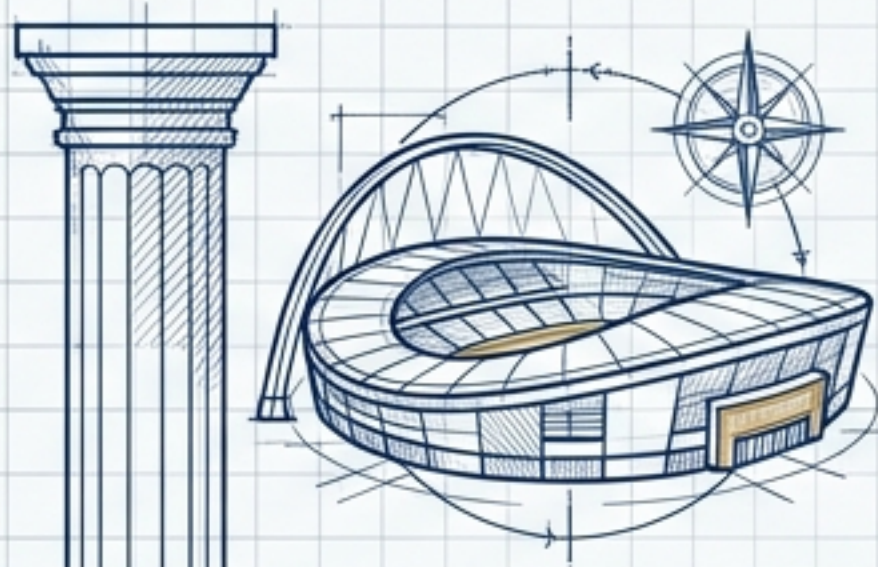
6.10M

13.40M

1.98M

生態系の進化：3つのフェーズ

EXECUTIVE SUMMARY - THE BLUEPRINT & THE COURT



環境 (The Environment)

2026年インド・オープンの現実と、世界基準に対するインフラの限界。

PHASE 1



闘士たち (The Athletes)

逆境を越える血統と精神。過酷な環境を生き抜いた異端のアイコンたち。

PHASE 2



未来への布石 (The Future)

PV・シンドウによる圧倒的な資本投下と次世代インフラの直接構築。

PHASE 3



BWF スーパー750：2026年インド・オープンの全容

賞金総額

\$950,000 USD

優勝ポイント

11,000 BWF ポイント

開催地

**インディラ・ガンディー・
アリーナ（ニューデリー）**

日程

2026年1月13日～18日



2026年大会 王者たちの顔ぶれ



男子シングルス

林俊易
(Lin Chun-yi)



女子シングルス

アン・セヨン
(An Se-young)



男子ダブルス

梁偉鏗 / 王昶
(Liang Weikeng /
Wang Chang)



女子ダブルス

劉聖書 / 譚寧
(Liu Shengshu /
Tan Ning)



混合ダブルス

デチャボル・プアヴァラヌクロー /
サブシリー・バエウサンブらん
(Dechapol Puavaranukroh /
Supissara Paewsampran)

世界大会基準に対するインフラの深刻な機能不全

Facility Friction Scorecard

大気汚染と罰金

アンダース・アントンセン（世界3位）が環境悪化を理由に3大会連続で棄権。「大会を開催する場所ではない」と発言し、\$5,000の罰金を科される事態に。

衛生面と気温

寒さと汚れが指摘されたKDジャダブ・スタジアム（練習拠点）。プラノイ対ロー・ケンユーの試合中には、コート上の鳥の糞により試合が2度も中断。

照明の未調整

スポットライトのようにまだらな照明により、選手がシャトルの軌道を見失う事態が多発。ホークアイ（ライン判定）の設置遅延にも連鎖。



過酷な環境を凌駕する闘争心：2025年世界選手権

Combat Log



81分間の死闘

HS・プラノイ vs アンダース・アントンセン。第2回戦での81分間に及ぶ死闘。プラノイは第3ゲームで2度のマッチポイントを握るも、8-21, 21-17, 21-23で惜敗。環境に屈しない脅威の執念を証明。



Combat Log

圧倒的突破力

サトウイクサイラジ・ランキレッディ / チラグ・シェッティ。

劉廣珩/ 楊博涵ペアを22-20, 21-13 13 (わずか43分) で粉碎し、ベスト16へ進出。



規格外のアイコン：PV・シンドゥ

PV・シンドゥ

Core Achievements:

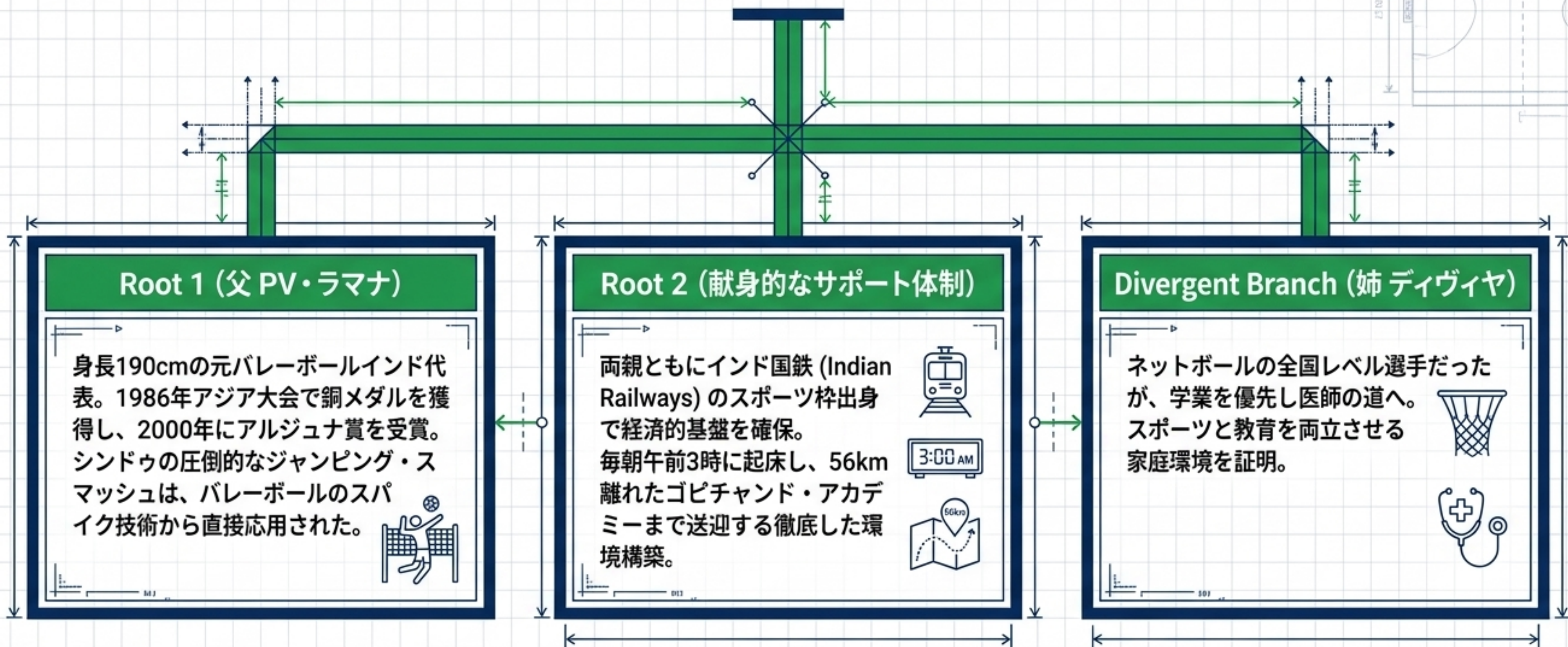
2016 リオ五輪 銀メダリスト

2019 世界選手権 金メダリスト

2020 東京五輪 銅メダリスト

インドのスポーツ・エコシステムの枠組みを超え、自らが新たな「世界基準」となった生ける伝説。

血統と環境：アスリートの遺伝子を解剖する



栄光と規律の軌跡：頂点への代償

2016 究極の管理下 (リオ五輪)

ゴピチャンド・コーチによる極限の規律。3ヶ月間のスマートフォン没収、大好物のアイスクリームと甘いヨーグルトの完全禁止。結果：歴史的な銀メダル獲得。

2019-2022 防御力の進化

パク・テサン (Park Tae-Sang) コーチの指導の下、弱点だった守備力を強化。世界選手権制覇と東京五輪での銅メダルへと結実。

2023-2024 一つの時代の終焉

パク・テサンとの契約解除。パリ五輪ではベスト16で中国の何冰嬌 (He Bing Jiao) に19-21, 14-21 (56分) で敗北。キャリアの新たな転換期へ。

エンタープライズ・アスリートへの進化

Corporate Athlete Dashboard

2023年総収入



\$7.1 Million

(約10億円)。バドミントン界の女子選手として世界最高額。

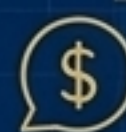
フォーブス誌ランキング

世界の女子アスリートで同率16位

(体操界の至宝シモーネ・バイルスと並ぶ)。



収益構造



コート内賞金 **\$100,000** に対し、コート外収入 (スポンサー契約等) が **\$7,000,000** を占める圧倒的ブランド力。

Personal Milestone

2024年12月、IT企業Posidex Technologiesのエグゼクティブ・ディレクターであるヴェンカタ・ダッタ・サイ (Venkata Datta Sai) 氏とウダイプールで結婚。ハイデラバードでの披露宴には7,000人が出席。



社会的還元のエコシステム：EBG財団の3本柱



変革の触媒：国内の摩擦から世界基準の直接構築へ

国内インフラの限界

世界基準のビジョン

- 大気汚染によるトップ選手の罰金と棄権

- 鳥の糞や不均一な照明による度重なる試合中断

- 冷暖房設備が不十分な不衛生な練習環境

「次世代への責任」——
圧倒的な富と影響力を、
エコシステム根本からの
変革へ投資。

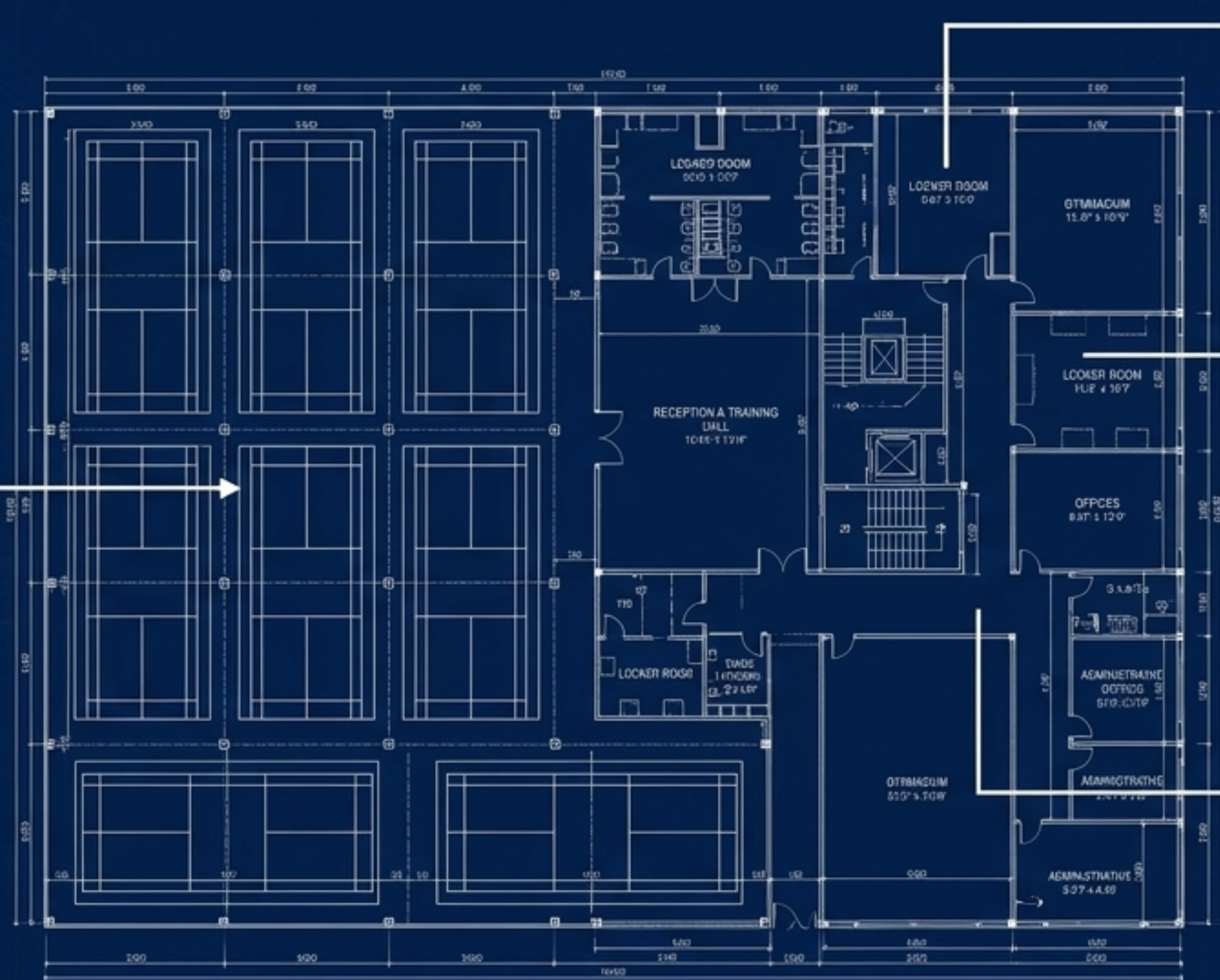
- 先進技術によるプレー環境の完全制御

- 世界最高峰のハイパフォーマンス・アーキテクチャ

- 選手自身が設計・出資する自立型トレーニング施設

青写真の具現化：ヴィザッグ・アカデミーの全貌

Facility Name: PV Sindhu Centre for Badminton and Sports Excellence



ロケーション

アーンドラ・プラデーシュ州ヴィサカパトナム、チンナ・ガディリ村。

規模の拡大

世界基準を満たすため、当初の2エーカーから3エーカーへと敷地設計を拡張。

パートナーシップ

エネルギー企業Greenkoと恩師ゴピチャンドの支援を受け、15ヶ月での完成を目指す超特急プロジェクト。

最先端テクノロジー

過去の大会で問題となったシャトルの不規則な動きをなくすため、世界中の施設を研究し「ドリフト・コントロール（風力制御）技術」を完全導入。

王者のサイクル：神童からインフラの設計者へ



インドバドミントンの未来は、もはや「突然変異」や「偶然」には頼らない。
一人の王者が、自らの手で持続可能なエコシステムを作り上げたのだ。